

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書
【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】 関東財務局長
【提出日】 平成31年2月14日
【四半期会計期間】 第70期第3四半期(自平成30年10月1日至平成30年12月31日)
【会社名】 株式会社フジマック
【英訳名】 FUJIMAK CORPORATION
【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 熊谷 光治
【本店の所在の場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号
【電話番号】 03 - 3434 - 7791
【事務連絡者氏名】 経理部次長 岩崎 正明
【最寄りの連絡場所】 東京都港区新橋五丁目14番5号
【電話番号】 03 - 3434 - 7791
【事務連絡者氏名】 経理部次長 岩崎 正明
【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第69期 第3四半期 連結累計期間	第70期 第3四半期 連結累計期間	第69期
会計期間	自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日	自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日
売上高 (千円)	26,931,757	26,547,336	38,565,503
経常利益 (千円)	1,886,036	1,696,199	2,783,229
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	1,253,510	1,090,286	1,965,157
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,541,218	970,755	2,155,161
純資産額 (千円)	16,401,797	17,724,253	17,015,715
総資産額 (千円)	34,181,100	33,664,625	35,414,482
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	95.64	83.19	149.94
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	48.0	52.6	48.0

回次	第69期 第3四半期 連結会計期間	第70期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日	自 平成30年10月1日 至 平成30年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	31.51	25.63

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 平成30年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。第69期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。
5. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益、雇用情勢が引続き底堅く推移したものの、生産、サービス活動が弱含みで推移し、特に輸出が鈍化し、経常収支の黒字幅が縮小傾向になったことから、景気動向の一連の指数は一昨年比マイナスが目立つようになり、回復力はやや減衰しました。

世界経済は、年末、米国が対中国追加関税の先送りを発表しましたが、米中貿易摩擦の懸念は尚払拭できず、先行きに不透明感が増しました。

このような環境下、当社グループは、あらゆる業種・業態のお客様の様々なニーズ、ご要望に、迅速且つ的確にお応えすべく、生産、物流、設計、施工、営業、サービスの一貫体制を一層強化してまいりました。

こうしたことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は265億4千7百万円（前年同期比1.4%減）となりました。利益面につきましては、経常利益は16億9千6百万円（前年同期比10.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億9千万円（前年同期比13.0%減）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、現預金・棚卸資産の増加、売上債権の減少等の結果、前連結会計年度末比17億4千9百万円減の336億6千4百万円となりました。負債につきましては、仕入債務・賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末比24億5千8百万円減の159億4千万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比7億8百万円増の177億2千4百万円となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、8千3百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 従業員数

当第3四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第3四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売の実績に著しい変動はありません。

(7) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設、除却等について、当第3四半期連結累計期間に著しい変更があったものは、次のとおりであります。

株式会社フジマックの東京営業部・第三部の旧事務所ビル（東京都港区南麻布1丁目7番23号）について、老朽化に伴う建替えを計画しております。

前連結会計年度末において詳細未確定でありました、当該敷地（約83坪）に新たに建築する予定の建物につきまして、延床面積は550坪程度、完成は2020年6月、建築費用は約13億円を予定しております。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成30年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成31年2月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,272,000	14,272,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数100株
計	14,272,000	14,272,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成30年10月1日 (注)	7,136,000	14,272,000		1,471,150		1,148,365

(注) 株式分割(1:2)によるものであります。

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成30年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成30年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 582,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,551,000	65,510	
単元未満株式	普通株式 2,200		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,136,000		
総株主の議決権		65,510	

(注) 平成30年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、上記株式数及び議決権の数については、当該分割前のものを記載しております。

【自己株式等】

平成30年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区新橋 五丁目14番5号	582,800		582,800	8.17
計		582,800		582,800	8.17

(注) 平成30年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、上記所有株式数については、当該分割前のものを記載しております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
専務取締役 (海外本部長)	専務取締役 (海外本部長兼海外事業部長)	熊谷 俊茂	平成30年12月1日

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成30年10月1日から平成30年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成30年4月1日から平成30年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,276,113	9,824,689
受取手形及び売掛金	9,000,969	5,957,841
商品及び製品	2,879,914	3,556,872
仕掛品	124,071	88,101
原材料及び貯蔵品	1,137,201	1,103,387
その他	554,887	653,145
貸倒引当金	7,894	3,753
流動資産合計	22,965,263	21,180,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,468,745	5,415,795
減価償却累計額	2,366,705	2,427,055
建物及び構築物(純額)	3,102,040	2,988,739
機械装置及び運搬具	4,056,519	4,086,998
減価償却累計額	2,965,030	3,137,909
機械装置及び運搬具(純額)	1,091,488	949,089
土地	4,023,389	4,071,078
その他	1,778,231	2,242,028
減価償却累計額	1,521,020	1,538,920
その他(純額)	257,210	703,108
有形固定資産合計	8,474,128	8,712,017
無形固定資産	284,644	240,896
投資その他の資産		
投資有価証券	1,996,786	1,819,573
その他	1,792,068	1,814,130
貸倒引当金	98,408	102,276
投資その他の資産合計	3,690,445	3,531,427
固定資産合計	12,449,219	12,484,341
資産合計	35,414,482	33,664,625

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,032,100	8,353,249
1年内返済予定の長期借入金	691,904	449,137
未払法人税等	490,371	127,801
賞与引当金	560,557	257,169
役員賞与引当金	45,048	39,867
製品保証引当金	86,600	81,600
その他	1,369,648	1,696,798
流動負債合計	13,276,230	11,005,624
固定負債		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	2,690,306	2,398,867
退職給付に係る負債	109,808	103,191
その他	1,322,422	1,432,689
固定負債合計	5,122,536	4,934,747
負債合計	18,398,767	15,940,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	12,043,198	12,871,356
自己株式	441,821	441,910
株主資本合計	14,220,893	15,048,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	918,475	815,206
土地再評価差額金	1,727,010	1,727,010
為替換算調整勘定	149,336	133,074
その他の包括利益累計額合計	2,794,822	2,675,291
純資産合計	17,015,715	17,724,253
負債純資産合計	35,414,482	33,664,625

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	26,931,757	26,547,336
売上原価	17,892,797	17,616,660
売上総利益	9,038,959	8,930,675
販売費及び一般管理費	7,238,548	7,350,681
営業利益	1,800,411	1,579,993
営業外収益		
受取利息	7,983	10,073
受取配当金	22,625	24,795
受取手数料	15,140	38,220
受取賃貸料	30,372	36,243
その他	49,706	47,518
営業外収益合計	125,827	156,851
営業外費用		
支払利息	30,467	25,983
その他	9,734	14,662
営業外費用合計	40,202	40,646
経常利益	1,886,036	1,696,199
特別利益		
固定資産売却益	634	1,687
投資有価証券売却益	7,853	0
特別利益合計	8,488	1,687
特別損失		
減損損失	19,046	-
固定資産除却損	1,753	24,241
固定資産売却損	8,309	-
投資有価証券評価損	0	26,372
特別損失合計	29,109	50,613
税金等調整前四半期純利益	1,865,414	1,647,272
法人税、住民税及び事業税	500,171	411,432
法人税等調整額	111,732	145,553
法人税等合計	611,903	556,985
四半期純利益	1,253,510	1,090,286
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,253,510	1,090,286

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	1,253,510	1,090,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	222,337	103,269
為替換算調整勘定	65,370	16,261
その他の包括利益合計	287,708	119,530
四半期包括利益	1,541,218	970,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,541,218	970,755
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングの会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングを満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
受取手形	136,204千円	82,524千円
支払手形及び買掛金	1,016,624 "	882,035 "
その他(設備関係支払手形)	3,299 "	1,348 "

(四半期連結損益計算書関係)

注記すべき事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
減価償却費	462,385千円	472,534千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月29日 定時株主総会	普通株式	163,833	25	平成29年3月31日	平成29年6月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成30年6月28日 定時株主総会	普通株式	262,128	40	平成30年3月31日	平成30年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
1株当たり四半期純利益	95円64銭	83円19銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,253,510	1,090,286
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に 帰属する四半期純利益(千円)	1,253,510	1,090,286
普通株式の期中平均株式数(株)	13,106,550	13,106,374

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、平成30年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成31年 2月 8日

株式会社フジマック
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 野 英 樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 渡 辺 雅 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの平成30年4月1日から平成31年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成30年10月1日から平成30年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の平成30年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。